

科目名	ホテル概論①								
科目名(英)									
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	小形 享平				
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	ホテルにおいて ホテル業務全般を担当				
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科1年生								
授業概要	時代や人々の価値観とともに変化するホテル業界に対応するためのホテルの業態・業務などの基礎知識を学び、実習・就職活動・2年次に受験する様々な検定の為の力をつける								
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○	○				日本のホテル業界の歴史について説明できる			
	○	○				ホテルの業態の違いについて説明できる			
	○	○				宿泊部門・料飲部門・宴会部門・婚礼部門の業務を各々説明できる			
テキスト・教材 参考図書	・現代ホテル理論 株式会社マーケティングオフィス								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	ホテルの種類と三要素				事前に教科書を読んでおいてください。			
	2	ホテル開業までのプロセス、リゾートホテルの全体像				事前に教科書を読んでおいてください。			
	3	シティホテルとビジネスホテル、ホテルの組織の基本				事前に教科書を読んでおいてください。			
	4	宿泊部門 客室の種類と料金、フロントセクションの業務				事前に教科書を読んでおいてください。			
	5	料飲部門 ホテルのレストランとバーの基礎知識と業務				事前に教科書を読んでおいてください。			
	6	宴会部門 ホテルが企画するイベントの基本				事前に教科書を読んでおいてください。			
	7	婚礼部門 ホテルウェディングの概要				事前に教科書を読んでおいてください。			
	8	前期まとめ ホテルの基礎と各部門の理解				事前に教科書を読んでおいてください。			
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	(1) 定期試験(筆記試験)を実施する (2) 毎授業内で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	◎	○				50%		
	小テスト	◎	○				50%		
履修上の注意									

科目名	レストラン実務①						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	ホテルにおいて ホテル業務全般を担当		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年生						
授業概要	サービスパーソンに求められる特に重要な3つの要素、即戦力として活躍できるサービス技術を身に付け、また、2年次に受験するHRS実務検定合格の為の基礎を作る。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○	○		レストランにおいてサービスパーソンとして適切な基本動作を実現することができる	
		○				レストランにおける基本知識を説明することができる	
		○				サービスの違いを説明することができる	
		○				料飲部門の業務について説明することができる	
テキスト・教材 参考図書	「基礎からわかる レストランサービススタンダードマニュアル」 一般社団法人日本ホテルレストランサービス技能協会						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	料飲部門の業務					
	2	料飲部門の位置づけ					
	3	接客の基本動作とマインドについて					
	4	サービス什器、備品の取り扱いについて					
	5	テーブルクロスのかげかた ナプキンの折り方					
	6	プレートサービス					
	7	トレイサービス					
	8	ドリンクサービス					
	9	朝食サービスの業務					
	10	ランチサービスの業務					
	11	ディナーサービスの業務					
	12	実技試験サービス練習①					
	13	実技試験サービス練習②					
	14	実技試験①					
15	実技試験②						
評価方法	(1)授業態度は服装・髪型・爪など授業に臨む上での基本姿勢で評価する。 (2)実技試験はサービス行程の把握、接客態度、時間内での達成で評価する。 以上を以下の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度		○		◎		50%
	実技試験		◎	◎	○		50%
履修上の注意	毎授業、実習服を着用し、髪型・爪も現場に合わせたものにして出席すること。						

科目名	実用英語 I・II ー①						
科目名(英)	Practical English						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	深川信子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科・エアライン科 1,2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					文法:基本文法を理解することができる	
	○					語彙:TOEICに頻出の単語を覚え、使用する事ができる	
	○					リスニング:様々な国の英語に慣れ、話しの内容を理解することができる	
	○					リーディング:ビジネス文書や記事を読み、内容を理解することができる	
テキスト・教材 参考図書	公式TOEIC Listening&Reading問題集(国際ビジネスコミュニケーション協会) TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) TOEIC L&R 出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学習指示		
	1	TOEIC IP テスト実施					
	2	TOEIC IP テスト実施					
	3	シラバス確認、TOEIC概要、英語の基本ルール					
	4	文法:unit1-2, Listening:part1(1-6)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	5	文法:unit3-4, Listening:part2(7-11)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	6	文法:unit5-6, Listening:part2(12-16)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	7	文法:unit7-8, Listening:part2(17-21)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	8	文法:unit9-10, Listening:part2(22-26)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	9	文法:unit11, Listening:part2(27-31) Reading:part7(147-148)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	10	Listening:part3(32-37) Reading:part7(149-152)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	11	Listening:part3(38-43) Reading:part7(153-157)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	12	Listening:part3(44-49) Reading:part7(158-163)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	13	Listening:part3(50-55) Reading:part7(164-171)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	14	文法:unit12-14, Listening:part3(56-61)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
15	文法:unit15-17, Listening:part3(62-67)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)毎週、単語の小テストを実施する。(3)朝自習のプリント・宿題を提出すること。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
履修上の注意	・辞書を持参すること ・授業中のスマホ使用禁止 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語Ⅰ-①、実用英語Ⅱ-①				
科目名(英)	Practical EnglishⅠ-①・Practical EnglishⅡ-①				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	津田 徳子
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	エアライン科・ホテルブライダル科 1年・2年				
授業概要	高校3年までに学習する英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とする。4技能を活かし、エアライン業界やホテル業界などの接客において、外国人とコミュニケーション力を身につける。また、「英会話」や「英語表現」などと連動し、話す、書く能力を実践的に修得する。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○				
	○				
	○	○			
目標	英語検定2級レベルの語彙(4,000~5,000語)の意味を理解できる。				
	まとまりのある説明文を理解したり、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。				
	日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。				
	日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができる。				
	日常生活での話題についてある程度まとまりのある文書を書くことができる。				
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 DAILY20日間 英検2級集中ゼミ ・旺文社 2018年度版英検2級過去6回全問題集&CD ・桐原書店 English Grammar Navigator Workbook				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	プレースメントテスト			
	2	プレースメントテスト			
	3	英検2級の概要と学習の進め方、分野別学習方法(語彙1)			
	4	分野別学習方法(語彙2、リスニング問題 会話文1)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	5	分野別学習方法(語彙3、リスニング問題 会話文2)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	6	分野別学習方法(イディオム1、リスニング問題 文の内容一致1)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	7	分野別学習方法(イディオム2、リスニング問題 文の内容一致2)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習
	8	分野別学習(語彙、イディオム)確認テスト、リスニング問題			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	9	分野別学習方法(語句の空所補充問題1、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	10	分野別学習方法(語句の空所補充問題2、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	11	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題1、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	12	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題2、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	13	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題3、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	14	長文の内容一致選択問題の確認テスト、英作文の書き方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習
	15	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	16	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	17	英作文(文型2・文型4)の書き方、文法(分詞)、リスニング			総合問題を事前に読み、問題を解いておくこと
	18	総合問題(英作文)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習
	19	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと
	20	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと
	21	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)			
	22	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと
	23	実践問題 2018年度第3回の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと
	24	2018年度第3回問題より、英作文の解説と作文のポイント			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと
	25	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)			
26	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと	

	27	実践問題 2018年度第2回の解答解説	不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと				
	28	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)					
	29	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)	不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと				
	30	実践問題 2018年度第1回の解答解説、定期試験(50分間)	不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを2回以上実施する。(3)宿題を数回実施する。(4)授業前課題を数回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト	○	○				25%
	宿題	○			○		20%
	授業前課題	○	○		○		5%
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前課題を必ず行うこと。この授業前課題の小テストは、基本的に毎週月曜日に実施し、平常点となる。 ・与えられた課題は必ず行い、授業に出席すること。 ・授業には、英和辞典(電子辞書可)、筆記具、ノートを持参すること。アプリの辞書機能は使用しない。 						

科目名	実用英語 I -①						
科目名(英)	Training Practice for STEP 2 nd Grade						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	辻 泰宇		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年						
授業概要	就職活動の資格試験として合格し、国際的なビジネスの場で必要とされる英語運用能力を養うことを目的とし、英検2級の問題を中心にリーディング・リスニングの演習を行います。また、英文理解力、語彙の強化に努め、英検2級の合格を目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					語彙: 英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる	
		○				読解: 基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる	
			○			リスニング: 様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる	
				○		英作文: 基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版] ・ できる順パス単 英検2級 						
授業計画 授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	序説: 名詞・形容詞・副詞の役割と文の要素SVOCM			左記の内容をそれぞれ言えるように覚えること		
	2	序説: 5文型と文構造			各文型の基本構造を言えるように覚えること		
	3	1日目: 短文の語句空所補充問題①(単語)解説			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	4	2日目: 短文の語句空所補充問題②(熟語)解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	5	3日目: 短文の語句空所補充問題③(文法)解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	6	4日目: 短文の語句空所補充問題④(語法)解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	7	5日目: 長文の語句空所補充問題① 解説・問題 [A] [B]			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	8	6日目: 長文の内容一致選択問題① 解説			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	9	6日目: 長文の内容一致選択問題① 問題 [A] [B]			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	10	7日目: 長文の内容一致選択問題② 解説			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	11	7日目: 長文の内容一致選択問題② 問題 [A] [B]			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	12	8日目: 英作文問題① 解説			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	13	8日目: 英作文問題① 問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	14	9日目: 会話の内容一致選択問題① 解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
15	10日目: 文の内容一致選択問題① 解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること			
評価方法	(1)、定期試験(筆記)を実施する (2)、月曜日から金曜日まで、毎朝、単語の小テストを実施する。 (3)、宿題を課す。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
	宿題	◎	○		○		5%
	朝自習	◎	○		○		20%

履修上の注意	・辞書を持参すること ・授業中のスマホの使用は禁止 ・授業外での自主学習の推奨						

科目名	実用英語検定2級対策						
科目名(英)	Training Practice for STEP 2 nd Grade						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	辻 泰宇		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年						
授業概要	就職活動の資格試験として合格し、国際的なビジネスの場で必要とされる英語運用能力を養うことを目的とし、英検2級の問題を中心にリーディング・リスニングの演習を行います。また、英文理解力、語彙の強化に努め、英検2級の合格を目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					語彙: 英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる	
		○				読解: 基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる	
			○			リスニング: 様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる	
				○		英作文: 基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版] ・ できる順パス単 英検2級 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	16	9日目: リスニング問題を攻略! ①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	17	10日目: リスニング問題を攻略! ②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	18	11日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 単語⑤			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	19	演習: リスニング特訓①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	20	12日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 熟語⑥			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	21	13日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 文法⑦			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	22	14日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 語法⑧			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	23	演習: リスニング特訓②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	24	15日目:【応用】長文の語句空所補充問題を攻略! ②-1			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	25	15日目:【応用】長文の語句空所補充問題を攻略! ②-2			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	26	演習: リスニング特訓③			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	27	16日目:【応用】長文の内容一致選択問題を攻略! ③-1			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	28	17日目:【応用】長文の内容一致選択問題を攻略! ③-2			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
29	演習: リスニング特訓④			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
30	前期定期試験 (筆記)			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
評価方法	(1)、定期試験(筆記)を実施する (2)、月曜日から金曜日まで、毎朝、単語の小テストを実施する。 (3)、宿題を課す。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
	宿題	◎	○		○		5%
	朝自習	◎	○		○		20%

履修上の注意	・辞書を持参すること ・授業中の私語、スマホの使用は禁止 ・授業外での自主学習の推奨						

科目名	実用英語 I、II-①					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	波多野 里美	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ホテルブライダル 1年・エアライン科 1年・2年					
授業概要	テキストの英検過去問題集を徹底的に学習することにより、合格を目指します。毎朝、朝課題に英単語熟語の問題を学習し提出してください。授業は、毎朝リスニング問題を実施します。また、テキストの英検準2級過去問題集に徹底的に取り組めますので予習・復習を忘れないください。また英作文にも取り組みます。英単語・英熟語については、各自、しっかり「出る順パス単」を自宅学習してください。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				英検準2級の合格を目指す。
	○	○				英検準2級の英単語・熟語を書き覚える。
		○				英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。
		○				英検準2級の筆記問題に対応できる力をつける。
	○				英検準2級程度の英作文を書けるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社)・英検準2級書き覚えノート(旺文社)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	6	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	7	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	8	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	12	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	16	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	17	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	18	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	19	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	20	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	21	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	22	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	23	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	24	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
25	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		

	26	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	27	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	28	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	29	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	30	英語Dクラス 学期末試験	授業内容に係る学期末テストを実施するので復習しておくこと				
評価方法	(1)学期末試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを5回実施する。(3)授業への取り組み、朝課題や宿題の提出状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学期末試験		○				50%
	小テスト		○				30%
	朝課題・宿題・授業態度				○		20%
履修上の注意	授業中の携帯電話使用を禁止します。英単語検索は、電子辞書、または英語辞典等を持参してください。 出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	内丸 誌帆	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ホテルブライダル・エアライン科 1年 2年					
授業概要	基本的な文法・単語を理解し、中学校卒業レベルの英語力を身につける、業務に必要な挨拶や指示が理解できる。 海外の文化などについて平易な説明を読んで内容を理解することができる。英検3級合格を目標とする。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○					会話の内容を聞き取り、短文英語で答えることができる。
	○	○				頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる
テキスト・教材 参考図書	旺文社 英検3級集中ゼミ／でる準パス単 英検3級 啓隆社 英作基本文例600／Baton Pass					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	実用英語1 適切な語句を学ぶ問題① / リスニング				
	2	実用英語2 適切な語句を学ぶ問題① / リスニング				
	3	実用英語3 適切な語句を学ぶ問題② / リスニング				
	4	実用英語4 適切な語句を学ぶ問題② / リスニング				
	5	実用英語5 適切な語句を学ぶ問題③ / リスニング				
	6	実用英語6 適切な語句を学ぶ問題③ / リスニング				
	7	実用英語7 適切な会話表現を学ぶ問題 / リスニング				
	8	実用英語8 読解問題 提示 / リスニング				
	9	実用英語9 読解問題 e-mail / リスニング				
	10	実用英語10 読解問題 手紙文 / リスニング				
	11	実用英語11 読解問題 説明文 / リスニング				
	12	実用英語12 英作文問題① / リスニング				
	13	実用英語13 英作文問題① / リスニング				
	14	実用英語14 英作文問題② / リスニング				
	15	実用英語15 英作文問題② / リスニング				
	16	実用英語16 リスニング第1部				
	17	実用英語17 リスニング第2部				
	18	実用英語18 リスニング第3部				
	19	実用英語19 リスニング第1部				
	20	実用英語20 リスニング第1部				
	21	実用英語21 リスニング第2部				
	22	実用英語22 リスニング第3部				
	23	実用英語23 読解問題 提示 / リスニング				
	24	実用英語24 読解問題 e-mail / リスニング				
25	実用英語25 読解問題 手紙文 / リスニング					

	26	実用英語26 読解問題 説明文 / リスニング					
	27	実用英語27 実力完成模擬テスト / リスニング					
	28	実用英語28 実力完成模擬テスト / リスニング					
	29	実用英語29 総復習①					
	30	実用英語30 総復習②、定期試験 50分間					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 授業中に小テストを実施する。(3) 宿題を数回課す。 (4) 授業中、積極的に発表することや取り組み姿勢などを評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				20%
	宿題・レポート		○				20%
	態度				○		10%
履修上の注意							

科目名	GCB I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年生						
授業概要	麻生塾生としての自分のあり方とを学び、感謝や思いやりがなぜ大切なのかを考える。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				キャリア実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間力)であることを知る	
	○	○				「感謝心」が人間力の根底にあることを知る	
		○				人間力を高めるためのマナーの重要性に気づく	
テキスト・教材 参考図書	Global Citizen Basic I 学生用テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	グローバル・シティズンを目指そう					
	2	「協働」の態度を持った学生生活					
	3	よりよい人間関係の構築に向けて モラル・ルール・マナーの重要性					
	4	マナーの本質 I					
	5	マナーの本質 II					
	6	グローバル・シティズンとしての日常					
	7	グローバルシティズンとしての目標					
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)提出物は毎授業後に作成・提出するレポート内容、提出期限の厳守で評価する。 (2)授業態度は積極的な発言・質問で評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物		◎		○		50%
	授業態度				◎		50%
履修上の注意	授業感想文は毎回翌日朝に提出(土日挟めば週明け)						

科目名	Word						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	北島正幸		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年						
授業概要	あらゆるビジネスシーンに最も活用されている「ワープロソフトMicrosoft Word」。そのWordの基本の習得を目指すとともにPCスキル並びにITリテラシーの向上を図ります。また、各回の授業の最初または最後に文字入力の練習を行います。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					Wordの日本語処理機能・編集機能を理解する	
		○				Wordの日本語処理機能・編集機能を利用することができる	
		○				10分間で300文字程度の入力(変換を含む)ができる	
テキスト・教材 参考図書	Word2016クイックマスター(基本編) Word文書処理技能認定試験 3級 問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Introduction・typing・環境設定					
	2	Wordの基本・文字入力と編集の基本操作					
	3	文書の編集					
	4	文書の編集					
	5	文書の印刷					
	6	文書の作成					
	7	文書の作成					
	8	表を使った文書の作成					
	9	表を使った文書の作成					
	10	図形や画像を使った文書の作成					
	11	図形や画像を使った文書の作成					
	12	総復習					
	13	総合学習問題					
	14	総合学習問題					
15	模擬問題						
評価方法	課題提出のすべて行って平常点100点とし、検定試験の点数との平均で行う。 検定試験の点数が60点以下・または受験しなかった場合は別途担当教員から試験・またはレポートを課す。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(検定試験)	◎	◎				50%
	課題提出	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。15回の講義のあと4回の補講があります。						

科目名	ウエディングセレモニー概論①						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	丸尾陽実		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年生						
授業概要	結婚および結婚式に必要な専門知識と実践的なブライダルマネジメントに繋がる能力を学ぶ						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					結婚及び結婚式に関する一般常識、文化、法令、慣習、宗教、儀礼、作法等に関する知識修得	
	○					ブライダルサービスやプランの企画・プランニングのイメージングができ、発表できる	
				○		提案、説明、承諾のステップを踏まえたプレゼンテーションができる	
	○			○		課題に対しグループで協力して取り組む姿勢がみられる	
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、ブライダル用語辞典						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	結婚の定義、結婚とは				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	日本と欧米の結婚式の歴史と文化				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	キリスト教の教派毎の結婚式				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	ブライダルビジネスとブライダル業種				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	見合いと婚約				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	結納、婚約				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	各宗派の結婚式(キリスト教式、神前式、仏前式、人前式)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	ブライダルコーディネーター業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題・レポートを1回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎			◎		50%
	宿題・レポート				◎		50%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	サービス接遇													
科目名(英)	Hospitality and service skill proficiency													
単位数	3単位		時間数	45時間		担当者	三石 佳代子							
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	○							
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年													
授業概要	サービス業に就くうえで必要なビジネスマナーの基礎知識を学び、実習や就職をふまえてのサービススタッフの心構えを理解する。													
授業形式	講義:	○		演習:	△		実習:		実技:			※ 主たる方法:○	その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標								
	○					サービススタッフの資質(必要とされる要件、従業要件)を理解する。								
	○					専門知識(サービス知識、従業知識)が理解できる。								
	○					社会常識、時事問題を理解している。								
	○			○		対人技能(人間関係、接遇知識、話し方、服装)を理解し、発揮できる。								
○			○		実務技能(問題処理、環境設備、金品管理、金品搬送、社交業務)を理解し、対処できる。									
テキスト・教材 参考図書	・サービス接遇検定公式テキスト2級 ・サービス接遇検定実問題集1-2級 ・プリントその他													
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示							
	1	授業ガイダンス					就職活動の基本となる自己紹介を考えておくこと							
	2	これまでに受けたサービスについての分かち合い					これまでに受けたサービスを思い出し発表できるように準備しておくこと							
	3	サービススタッフに必要とされる要件					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	4	従業要件					前回までの小テスト 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	5	サービス知識					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	6	従業知識					前回までの小テスト 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	7	社会常識					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	8	人間関係					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	9	接遇知識					前回までの小テスト 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	10	接遇者としての話し方					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	11	接遇者としての話し方、服装					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	12	問題処理					前回までの小テスト 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	13	環境整備					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	14	金品管理					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	15	金品搬送					前回までの小テスト 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	16	社交業務					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	17	実問題と解説					事前に問題を解いておくこと(第39回)							
	18	実問題と解説					事前に問題を解いておくこと(第40回)							
	19	実問題と解説					事前に問題を解いておくこと(第41回)							
	20	実問題と解説					事前に問題を解いておくこと(第42回)							
	21	実問題と解説					事前に問題を解いておくこと(第43回)							
	22	試験問題の振り返り、正試験					サービス接遇検定2級の振り返りをしておくこと							
23	実習に取り組む上での心構え 社会に出る前に知っておきたいこと					実習で学びたいこと習得したいことを明確にしておくこと								
サービス接遇検定2級内容を踏まえた筆記試験を正試験とする。検定試験合格も評価の対象とする。サービス業を目指す人物として、平常点(普通の授業態度・意欲・提出物・小テスト)も評価対象とする。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
正試験							◎	○				50%		

科目名	ホテルブライダル業界研究						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科1年生						
授業概要	ホテル実習準備と実習に対する心構えの構築、ホテル実習先だけでなく、様々なホテルや企業を知る。						
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		夏季実習に向け、準備を行う	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	メイクアップ講座					
	2	夏季ホテル実習について					
	3	実習用写真撮影・海外留学説明会					
	4	韓国研修旅行説明会					
	5	夏季ホテル実習準備・提出書類について					
	6	ホテル実習 学生紹介シート作成					
	7	ホテル実習 実習先ホテル・地域調査/資料作成					
	8	ホテル実習中の生活・課題について					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1) 提出物は学生紹介シートの他、実習先確定後は実習ホテルや地域の調査を行い資料を作成したもの。 (2) 授業態度は積極的な発言・質問の他、提出物期日の厳守などを評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物	◎	○				50%
	授業態度				◎		50%
履修上の注意							

科目名	ホテル・ブライダルゼミ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年生						
授業概要	夏季ホテル実習に向けた準備と心構えをつくる。 同時にテーブルマナー講習や昨年度実習を終えた先輩の話を聞き実習に向けた見分を広げる。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					クラスメート、観光系の学生、他校の学生との親交を深める	
	○		○			和食・洋食のテーブルマナーを身に着ける	
	○	○				適性試験を実施し、基礎学力を測る。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	観光系合同ウェルカムパーティ					
	2	個人特性分析(学生適性試験)					
	3	健康診断 / 連休課題について					
	4	テーブルマナー講習				学外授業、市内ホテルにて	
	5	福岡校と合同実習壮行会①				福岡校にて合同実施	
	6	福岡校と合同実習壮行会②				福岡校にて合同実施	
	7	福岡校と合同実習壮行会③				福岡校にて合同実施	
	8	福岡校と合同実習壮行会④				福岡校にて合同実施	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1) 授業態度は積極的な発言・質問で評価する。(2) 授業出席で確認する (3) 指示通りの提出物で評価し、宿題・レポート提出を複数回実施する。 以上を下記の観点。割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		30%
	出席状況				◎		20%
	提出物状況				◎		50%
履修上の注意	テーブルマナー講習・合同壮行会はスーツ着用にて。						

科目名	ホテル実習						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	240時間	担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科1年						
授業概要	ホテル・ブライダルゼミの授業において、実習先の事前研修を実施し、インターンシップに必要とされる基礎知識(専門用語や敬語、社会人としてのマナーなど)を身に付けていく。その後、各地のホテルにおける様々な部門の就業体験を通して、実践的スキルを習得する。						
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ホテルでの接客時に用いる敬語や言い回しを見え、実際にお客様と会話することができる。	
		○				ホテル業界用語について学び、実習中にそれらを用いて社員とコミュニケーションをとることができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
	○					自ら仕事を見つけ、社員に対して改善点を提案することができる。	
テキスト・教材 参考図書	ホテル実習ノート						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
		各企業でのインターンシップ			シフト表を確認し、業務内容を把握しておくこと。		
評価方法	実習先企業からの評価を基に、出勤状況を加味し、評価を行う。実習の単位認定評価(R評価)。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出勤状況				○		100%
履修上の注意	日常の出席率・提出物状況・授業態度が実習にふさわしくないと判断した場合、実習参加を中止する。						

科目名	一般教養 I - ①						
科目名(英)	Common sense						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	島 一弘		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテルブライダル科 1年						
授業概要	日本という社会において意思疎通を図れる用語や計算を駆使することができるようことを目指す。また日本社会はもちろん外国の社会の仕組みやその役割・機能を理解習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					日本国民としての社会を理解する基本用語の理解ができる。	
		○				基本的な数学計算ができる。	
				○		常にあらゆるものに対して「なぜ」という疑問を持ち、問題に取り組む姿勢を持つ。	
テキスト・教材 参考図書	プラス内定2021年卒版「一般常識&最新時事」(新星出版社)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	政治			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	経済			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	国際			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	社会			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	科学技術			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	文化・スポーツ			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	国語			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	地理・歴史			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)宿題・レポートを毎回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。(3)学習意欲(居眠り・私語)は減点以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	宿題・レポート	○	◎		◎		40%
	発表・作品				◎		10%
履修上の注意							

科目名	English Communication I - ①						
科目名(英)	English Communication I						
単位数	2	時間数	30	担当者	Robert Sumner		
実施年度	2019	実施時期	1st term	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	Hotel/Bridal 1st grade.						
授業概要	Provide students with motivation to learn English Give students confidence to believe they can improve. Provide English skills for Everyday English + work environments						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○	○			To learn Everyday Vocabulary + remember key words study to give students confidence to express themselves Encourage students to speak with confidence + a positive attitude.	
テキスト・教材 参考図書	Talk a lot + Worksheets						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Self-introductions + Getting to know each other					
	2	Dialogue + Personal Info.					
	3	Interests + Abilities					
	4	Check-in - Hotel					
	5	Hotel English + Vocabulary					
	6	Talk about Family					
	7	How often? + Telling the Time					
	8	Daily Routines					
	9	Past Simple					
	10	Hotel Roleplay.					
	11	Leisure, Sport + Hobbies					
	12	Country Trivia + Present Perfect					
	13	Hotel English + Announcements					
	14	Review + Test Preparation					
15	End of term test						
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品 態度・意欲				○		50
履修上の注意							

科目名	ENGLISH communication I-①						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	15	担当者	Colin Carmichael		
実施年度	2019	実施時期	First term	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	HOTEL BRIDAL 1st year						
授業概要	To use English for communication Inter-action with Customers Learn Basic English Conversation						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					Basic English conversation	
		○				Customer Inter-action	
			○			English for communication	
テキスト・教材 参考図書	Talk a lot face to face						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Teacher Introduction Simple Questions					
	2	meeting people for the first time					
	3	Talk a lot Unit 1					
	4	Self Introductions					
	5	face to face Unit 1+2 countries					
	6	face to face Unit 3+4 jobs					
	7	Talk a lot family Unit 3					
	8	Present Tense and present continuous Unit 5					
	9	Telling the time Talking about jobs Unit 5					
	10	Talking about jobs Talk a lot Unit 5 continued,					
	11	face to face Unit 4 Listening exercise					
	12	Daily routines face to face Unit 6					
	13	Past tense Unit 6 Talk a lot					
	14	Review and pre test warm up.					
	15	1st Term Test. Level check,					
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
	態度・意欲				○		50%
履修上の注意							

科目名	宿泊実務①						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	藏田純子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年						
授業概要	お客さまの到着から出発までの動線を把握し、そこに携わるそれぞれの業務について十分理解を深め行動化できるようにする。またホテルスタッフに必要な知識と資質を身に付け、お客さまのニーズに合わせたサービスの提供ができるようにする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ホテル宿泊部門の各課の知識を身につけ、理解したうえで、業務について説明できる	
		○	○			ホテルサービスの実務やチームワークの大切さを理解し行動化できる	
	○			○		社会人としての基礎知識を身につけ心配りのできるサービスができるようにする	
テキスト・教材 参考図書	株式会社ウイネット「ホテルテキストⅠ フロントオフィス編」「ホテルテキスト宿泊Ⅱ フロントサービス編」						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 フロントオフィスとは 第2章 客室のタイプと料金					
	2	第3章 リザーベーション業務「宿泊予約」業務内容				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	第3章 リザーベーション業務 電話予約の基本とローププレイング				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと、電話予約練習	
	4	第4章 レセプション業務 チェックイン業務の流れと手順				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	前回授業の続き チェックイン業務ロールプレイング				チェックイン業務の復習	
	6	第5章 フロントキャッシャー業務 第6章 インフォメーション業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと、チェックイン復習	
	7	第7章 防犯業務まとめ チェックイン業務 テスト				チェックイン業務の復習	
	8	第1章 フロントオフィスとは ドアマンとベルマンの業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(実践)を実施する。(2)演習課題(ローププレイング) (3)発表・授業意欲以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎	○			50%
	演習課題			○	◎		30%
	発表・意欲				◎		20%
履修上の注意							

科目名	接遇演習						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	8コマ	担当者	宮末由里子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年						
授業概要	実社会の中で必要な社会人としての基本的な心構えとマナーを学習する。知識だけでなく実践することにより、実社会で戸惑うことなく行動ができるようにする。講義、個人ワークの他、ロールプレイングを取り入れながら学習する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○		○			社会人としての基本動作ができる。	
	○					敬語の使い方が理解できる。	
	○		○			来客の受付、取次、案内ができる。	
	○		○			電話の受け方、かけ方ができる。携帯電話、FAX、Eメールを理解できる。 訪問のマナーを理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	社会でいさる 実践ビジネスマナー (株式会社ウイネット)						
授業計画	回数	授業項目・内容		授業外学修指示			
	1	社会人としての心構え、基本動作		基本動作の練習とする。			
	2	言葉遣いの基本		敬語の基本を復習する。			
	3	来客応対 1		受付、取次の仕方を復習する。			
	4	来客応対 2		来客応対1,2の復習とする。			
	5	電話応対 1		電話の受け方を練習する。			
	6	電話応対 2		電話応対1,2の復習とする。			
	7	訪問のマナー		教科書の該当範囲を読んでおく。			
	8	まとめ(評価試験)		全体の復習をしておくこと。			
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)ロールプレイングを数回実施する。 (3)評価試験(筆記)を実施する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				20%
	ロールプレイング			○		30%	
履修上の注意	お客様応対ができる身だしなみで出席すること。(顔にかかる髪はまとめる)						